

令和6年度 北・北海道中央圏域 定住自立圏共生ビジョン懇談会 次第

日 時 令和7年2月13日(木) 午後1時30分～
場 所 駅前交流プラザよろーな 1階大会議室

1 開 会

事務局(士別市 増田課長)

2 名寄市長挨拶

加藤市長より挨拶

3 議 題

(1)定住自立圏共生ビジョン登載事業の実施状況及び定住自立圏共生ビジョンの
変更について **承認**

- ・主に共生ビジョン登載事業における令和5年度決算事業費、令和6年度以降の
事業費の変更案、及び事業内容の変更について事務局より説明

質疑なし

(2)その他

特になし

4 意見交換

テーマ『人手不足とその対策について』

(1)構成自治体での取組事例の紹介

『介護人材確保対策の取り組み』

士別市健康福祉部高齢者福祉課長 青木 秀敏

『外国人材の受入れ、支援に関する取り組み』

名寄市総合政策部交流推進課長 滋野 亜由美

質疑

・委員

士別市の取組について、直近の課題などはあるか。

⇒青木課長

士別に来ていただいた方が、その後定着していただけるか。地元に残ってもらえるような取組が必要と考えている。

・委員

名寄市の取組について、実施している日本語広場の様子は。

⇒滋野課長

参加いただいている方は、流暢に日本語を話されているが、より話せるようにと
向上心を持っている方が多いと感じる。現在は交流がメインだが、次年度からは、
日本語を教える場も提供できればと考えている。

(2) グループワーク

2 グループに分かれて、テーマに沿って意見交換。各グループのまとめを全体で発表。

○グループ①

- ・人材募集の広報等を上手くやっている業者もあり、見習えればと思う。
- ・介護分野等で外国人の雇用もあるが、定着に課題。事例紹介であった、交流の場が、広域でもできればよいのではないか。
- ・各自治体で外国人材を受け入れ散る印象を持ったが、リスクや周囲でフォローを行う人の負担増もあると思う。地域でうまくサポートができると活躍しやすいと思う。
- ・人材確保には、やはり魅力の向上や発信が重要ではないか。

○グループ②

- ・介護、交通、農林水産業などあらゆる分野で高齢化、若者の流出が深刻。各企業でPR等を行っているが、厳しい状況。
- ・外国人労働力を取り入れてはどうかという話も上がったが、良いことだけでなく、リスクもあると思うので、行政でどう周囲をサポートするかが大事。
- ・人手不足の対策については、1自治体では難しいので、広域で取り組んでいくことも大事になると思う。

5 その他

事務局より

- ・今年度の開催は今回のみ
- ・ご審議いただいた内容を反映した共生ビジョンは後日 HP で公開

6 士別市長挨拶

渡辺市長より挨拶

7 閉 会